

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2023年5月30日提出
【ファンド名】	明治安田DC日本株式リサーチオープン
【発行者名】	明治安田アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西尾 友宏
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町二丁目3番2号
【事務連絡者氏名】	植村 吉二
【連絡場所】	東京都千代田区大手町二丁目3番2号
【電話番号】	03-6700-4111
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【提出理由】

内国投資信託「明治安田DC日本株式リサーチオープン（以下「当ファンド」ということがあります。）」および当ファンドが主要投資対象とする「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド（以下、それぞれを又は総称して「マザーファンド」ということがあります。）」につきまして、運用の基本方針の変更にかかる投資信託約款の変更が決定しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項に基づく特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令第29条第2項第3号の規定に従い、本臨時報告書を提出するものです。

2【報告内容】

イ．変更の内容についての概要

当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドにおいて、銘柄選定（運用プロセス）の中で補完的役割を果たしていたアリアンツ・グローバル・インベスターズグループのグラスルーツ リサーチの活用を中止するため、投資信託約款の変更を行うものです。これに伴い、当ファンドについても所要の変更を行うものです。

< 投資信託約款に係る新旧対照表 >

追加型証券投資信託

明治安田DC日本株式リサーチオープン

運用の基本方針

下線部は変更部分を示します。

新	旧
<p>2．運用方法 (2) 投資態度 ～ (略)</p> <p><u>明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンドにおいては、アナリストおよびポートフォリオ・マネジャーによるファンダメンタル分析、企業への訪問・ヒアリングをベースとして、企業の成長性、クオリティーおよびバリュエーション（企業価値評価）を重視した銘柄選定を行います。</u></p> <p><u>明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンドにおいては、企業トップマネジメントとのミーティングに基づくボトムアップリサーチをベースとして、企業の成長性、クオリティーおよびバリュエーション（企業価値評価）を重視した銘柄選択を行います。</u></p> <p>～ (略)</p>	<p>2．運用方法 (2) 投資態度 ～ (略)</p> <p><u>明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンドにおいては、アナリストおよびポートフォリオ・マネジャーによるファンダメンタル分析、企業への訪問・ヒアリング、グラスルーツリサーチをベースとして、企業の成長性、クオリティーおよびバリュエーション（企業価値評価）を重視した銘柄選定を行います。</u></p> <p><u>明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンドにおいては企業トップマネジメントとのミーティングを重視したボトムアップリサーチにグラスルーツリサーチを加え成長企業の発掘・選別を行います。（グラスルーツリサーチはアナリストおよびポートフォリオ・マネジャーの問題提起に基づき外部のリサーチャーを活用して、運用判断のサポートとなる特定の業界、製品、顧客動向等の調査を行うアリアンツ・グローバル・インベスターズグループのユニークなシステムで、グローバルな視点での日本企業の活動分析にも力を発揮するリサーチ手法です。）</u></p> <p>～ (略)</p>

親投資信託

明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド

運用の基本方針

下線部は変更部分を示します。

新	旧
<p>2. 運用方法 (2) 投資態度</p> <p>TOPIX500に含まれている銘柄を主要投資対象とします。</p> <p>投資する銘柄数は、50前後を目安とします。</p> <p>株式の組入比率は原則として高位を保ちます。</p> <p>リサーチを最重要視しファンダメンタル分析、ボトムアップ型リサーチに基づく成長株への投資が運用パフォーマンスの向上に繋がるとの考えに基づいて運用を行います。</p> <p><u>投資については、アナリストおよびポートフォリオ・マネジャーによるファンダメンタル分析、企業への訪問・ヒアリングをベースとして、企業の成長性、クオリティおよびバリュエーション(企業価値評価)を重視した銘柄選定を行います。</u></p> <p>~ (略)</p>	<p>2. 運用方法 (2) 投資態度</p> <p>TOPIX500に含まれている銘柄を主要投資対象とします。</p> <p>投資する銘柄数は、50前後を目安とします。</p> <p>株式の組入比率は原則として高位を保ちます。</p> <p>リサーチを最重要視しファンダメンタル分析、ボトムアップ型リサーチに基づく成長株への投資が運用パフォーマンスの向上に繋がるとの考えに基づいて運用を行います。</p> <p><u>投資については、アナリストおよびポートフォリオ・マネジャーによるファンダメンタル分析、企業への訪問・ヒアリング、グラスルーツリサーチをベースとして、企業の成長性、クオリティおよびバリュエーション(企業価値評価)を重視した銘柄選定を行います。</u></p> <p>~ (略)</p>

親投資信託

明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド

運用の基本方針

下線部は変更部分を示します。

新	旧
---	---

<p>2. 運用方法 (2) 投資態度 おもにTOPIX500対象銘柄以外の銘柄を主要投資対象とします。</p> <p>投資する銘柄数は、50～80程度を目安とします。</p> <p>株式の組入比率は原則として高位を保ちます。</p> <p>リサーチを最重要視しファンダメンタル分析、ボトムアップ型リサーチに基づく成長株への投資が運用パフォーマンスの向上に繋がるとの考えに基づいて運用を行います。</p> <p><u>企業トップマネジメントとのミーティングに基づくボトムアップリサーチをベースとして、企業の成長性、クオリティーおよびバリュエーション（企業価値評価）を重視した銘柄選択を行います。</u></p> <p>～ (略)</p>	<p>2. 運用方法 (2) 投資態度 おもにTOPIX500対象銘柄以外の銘柄を主要投資対象とします。</p> <p>投資する銘柄数は、50～80程度を目安とします。</p> <p>株式の組入比率は原則として高位を保ちます。</p> <p>リサーチを最重要視しファンダメンタル分析、ボトムアップ型リサーチに基づく成長株への投資が運用パフォーマンスの向上に繋がるとの考えに基づいて運用を行います。</p> <p><u>企業トップマネジメントとのミーティングを重視したボトムアップリサーチにグラスルーツリサーチを加え成長企業の発掘・選別を行います。（グラスルーツリサーチはアナリストおよびポートフォリオ・マネジャーの問題提起に基づき外部のリチャーを活用して、運用判断のサポートとなる特定の業界、製品、顧客動向等の調査を行うアリアンツ・グローバル・インベスターズグループのユニークなシステムで、グローバルな視点での日本企業の活動分析にも力を発揮するリサーチ手法です。）</u></p> <p>～ (略)</p>
--	---

□. 当該変更の年月日

2023年7月1日